

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月31日

計画の名称	大阪市下水道・河川総合整備計画〔第2期〕その2												
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	大阪市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心で快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造するとともに、循環型社会に貢献する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,939	A	2,939	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (R3末)
1	流域別下水道整備総合計画対応のための窒素除去施設整備率を48%（H29当初）から51%（R3末）に向上させる。 流域別下水道整備総合計画対応のための窒素除去施設整備率 施設整備により削減される窒素量 / 目標窒素削減量（4.21t/日）	48%	%	51%
2	計画期間内におけるPPP/PFIの事業手法による民間活力を活用する下水道事業の実施件数を1件（H29当初）から6件（R3末）に増加させる。 PPP/PFIの事業手法による民間活力を活用する下水道事業の実施件数	1件	件	6件

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	大阪市	直接	市	終末処理場	改築	市内（12処理区）下水処理場施設（改築更新）	海老江下水処理場水処理施設整備 他5件	大阪市						2,939		策定済	
大阪市下水道長寿命化計画（処理施設）、大阪市下水道ストックマネジメント計画																				
											小計						2,939			
											合計							2,939		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大阪市	令和4年度
	公表の方法
	大阪市HP上で公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪湾流域別下水道整備総合計画暫定目標に適合するために必要な施設整備を実施したことにより、下水処理場からの放流水質向上を図り、良好な水環境の創出に寄与した。</li> <li>・PPP/PFI手法により、民間活力を活用した効率的・効果的な施設整備と良質なサービス提供を図る。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>令和3年度から令和12年度までの10年間を計画期間とする「大阪市下水道事業経営戦略」に基づき、下水道事業の抱える課題に適切に対応し、質の高い下水道サービスを将来にわたって安定的に提供していく。また、下記の4つの施策を経営健全化の視点を持ちつつ、着実に実施していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「機能維持」施設を良好に維持し、機能を適正に確保する取り組み</li> <li>「浸水対策」まちの浸水に対する安全度を向上させる取り組み</li> <li>「地震対策」地震や津波等の自然災害による被害を抑制する取り組み</li> <li>「都市環境保全」清らかな水環境の保全に寄与し、都市の環境や魅力を守る取り組み</li> </ul> <p>引き続き、次期計画「大阪市下水道・河川総合整備計画〔第3期〕」を策定し、質の高い下水道サービスや市民の安心安全に向けた施策に取り組む。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	流域別下水道整備総合計画対応のための窒素除去施設整備率	
	最終目標値	51%
	最終実績値	48%
新型コロナウイルスの影響で工事の遅れが発生し、目標値を下回ったが、その後着実に事業進捗を図り令和3年度内に完成した。		
2	PPP/PFIの事業手法による民間活力を活用する下水道事業の実施件数	
	最終目標値	6件
	最終実績値	2件
限られた財源の中で、発注スケジュールや発注範囲の見直しを行ったことにより、目標値を下回った。		